



令和7年度第2回 山梨県いのちのセーフティネット連絡協議会

令和7年の住居地ベースの自殺者の状況

～令和8年1月29日公表「地域における自殺の基礎資料」（暫定値）から～

福祉保健部健康増進課

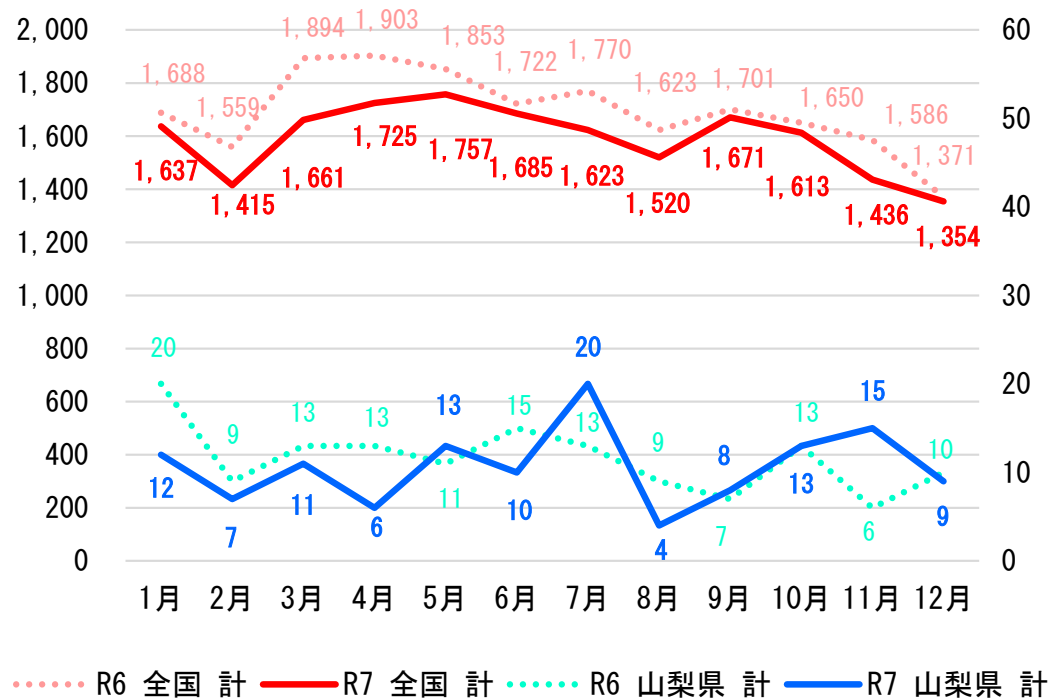
概況

- ◆ 県内に住居を有する方の、**自殺者数は128人**であり、**前年比11人減（▲7.91%）**となっている。
- ◆ 全国の自殺者数は、前年比1,223人減（6.02%減）と1978年の統計開始以降初めて2万人を下回り最小の数値になったものの、**小中高生の自殺は532人（前年比3人増）**で過去最多となった。
- ◆ 当県では、男性が7人減（▲6.9%）、女性が4人減（▲10.8%）。
- ◆ 全国では、男性が684人減（▲5.0%）、女性が539人減（▲8.3%）。
- ◆ 当県では、上半期は前年を下回る月が多かったが、下半期は前年並もしくは上回る月が多くみられた。
- ◆ 全国では、全ての月で前年を下回って推移した。

表1：自殺者数の前年比

		R5年	R6年	R7年	増減数		増減率	
					R7/R6	R7/R5	R7/R6	R7/R5
全国	男	14,862	13,801	13,117	△ 684	△ 1745	△ 5.0	△ 11.7
	女	6,975	6,519	5,980	△ 539	△ 995	△ 8.3	△ 14.3
	計	21,837	20,320	19,097	△ 1,223	△ 2,740	△ 6.0	△ 12.5
本県	男	111	102	95	△ 7	△ 16	△ 6.9	△ 14.4
	女	48	37	33	△ 4	△ 15	△ 10.8	△ 31.3
	計	159	139	128	△ 11	△ 31	△ 7.9	△ 19.5

図1：月別の推移



性・年齢別の状況

- ◆ 年齢別では、40代、70代で男女ともに減少した一方、**50代で男女ともに増加した。**
- ◆ **20歳未満では、男性で1名増加、女性で3名減少。本県では20歳未満での著しい増加は見られない。**
- ◆ コロナ禍前と比較すると、**30代、40代、80歳以上の年代の増加**が大きい。

図2：性別・年齢別の前年との増減

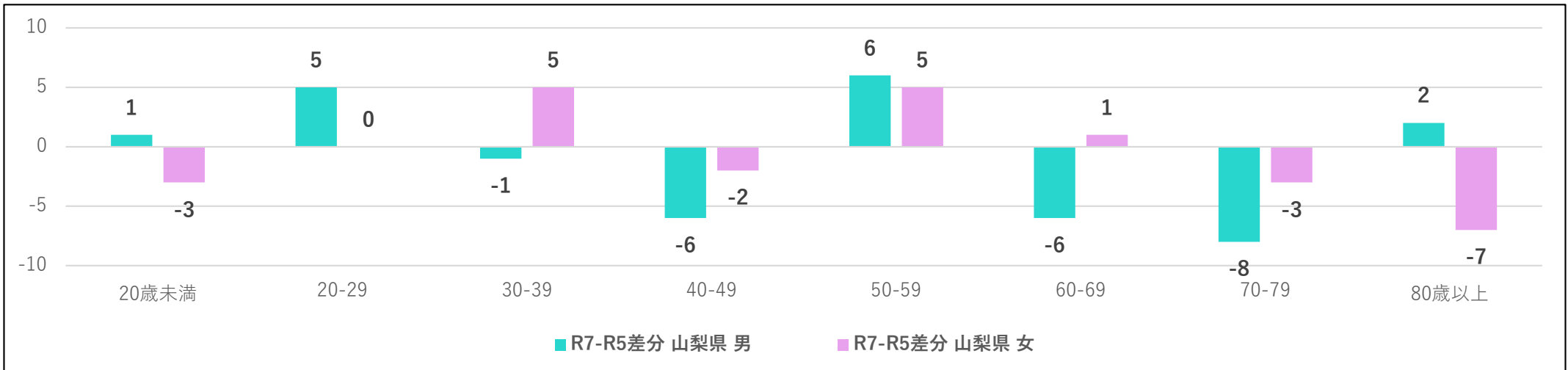
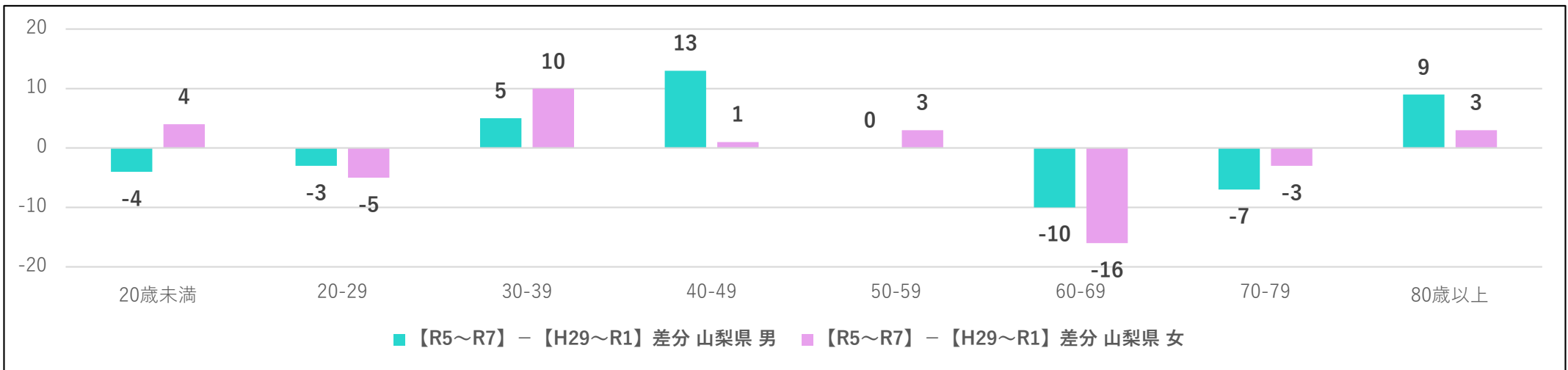


図3：性別・年齢別のコロナ禍前との増減（コロナ禍前【H29～R1】と【R5～R7】の3年合計比較）



職業別の状況

- ◆ 有職者、年金・雇用保険等生活者、その他の無職者が減少。
- ◆ 学生・生徒等は1人減少。

図4：職業別の前年との増減

	有職者	学生・生徒等	主婦	失業者	年金・雇用保険等生活者	その他の無職者	不詳
R6	61	8	3	6	20	38	3
R7	68	7	3	2	11	33	4
増減	7	△ 1	0	△ 4	△ 9	△ 5	1

原因・動機別の状況

- ◆ 自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きている。
- ◆ うつ病を含む**健康問題が11.0ポイント減**、**経済・生活問題が2.4ポイント減**、**家庭問題は1.3ポイント増**、**学校問題は2.4ポイント増**となっている。

図5：原因・動機別の構成割合

